古河市一般廃棄物処理施設の一元化方針について

古河地区のごみ処理施設の一元化については、令和7年6月6日付け古河市環境審議会答申を受け、下記の通り方針を定めましたので、報告します。

1 さしま環境管理事務組合への加入

古河地区は、長期的費用や市民の利便性等を総合的に勘案し、さしま環境管理事務組合（以下、単に「組合」という。）に加入する。なお、墓地斎場等管理事業は、同地区に既存施設があるため引続き単独事業とする。また、加入する時期は、組合と別途協議し、決定する。

2 可燃ごみ中継施設の整備

収集運搬費用が少なくなるよう、古河地区に可燃ごみ中継施設を新たに建設する。場所は、古河クリーンセンター周辺を第一候補地とする。なお、市民による直接搬入が可能なものとし、収集運搬委託された許可事業者のごみは、基本的に受け入れない。

また、施設の処理能力は、現在同地区から排出される可燃ごみを全て受け入れることを前提に計画する。

3 可燃以外ごみ処理施設及び周辺の整備

- (1) 資源ごみ処理施設は、同地区に既存施設があることから、将来計画について組合と期限を設けて協議する。
- (2) 可燃ごみ中継施設における周辺道路の整備は、搬出車両の種別や搬出入量等が計画された段階で再度、必要性も含めて検討する。

4 古河クリーンセンターの廃止及び施設の解体

組合に加入後、速やかに、古河クリーンセンターを廃止し、交付金対象期間内に、これを解体する。なお、解体後の施設整備については、別途検討する。また、旧渡良瀬処理場の跡地利用についても、速やかに検討する。

5 その他

一般廃棄物処理施設の一元化に伴い、ごみ分別方法の統一を図る。